

# すぎのこ

151

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2018 7/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264  
新館研修センター：〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155  
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 園からの声／人形製作講習会／池袋いけいけ人形劇まつり／日本芸術文化振興会助成事業に採択／制作日より  
4面 賛助会員募集／ゲネプロ報告／新人紹介 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: [support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)



## 巡回公演だよ

### 三まいのおふだ 班

榎本 均

「あれ、人形ってこんなに重く、動かないものか」

不信をいだき、初めて人形を持った新人の時のような不安を覚え

ました。やまんばの人形を持った時、「うむ、重い」と左の手がつぶやきました。そして、長い道のりを感じました。

でも、人形の在り方、存在を見紛うことにならないように、その時、ある決め事をしました。ちゃんと人形を丹田(へその下あたり)で、重さを受け止めて維持できなければいけない。う

まく使いこなそうなど決して考えないようにと。舞台上で人形が安定して立っている存在感と基本的な人形の動きを、忠実に行うことにしよう。今までの経験や感性に頼らず、もう一度ふり出しに戻って人形と向き合い、寄り添っていきたいと思います。それでも、いざ旅に出て公演してみれば、子どもたちの反応に励まされ、そんな弱気虫はどこかに隠れてしまいますけれど…いやいや、おごらず、傲慢にならず、むしろ、その弱気虫をいつも隠し持っていようと、いろいろ思いめぐらし



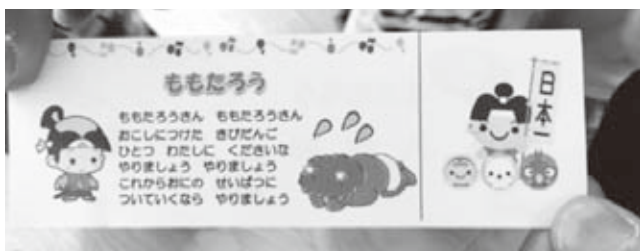
### おだんごばん 班

星野 翼

「おだんごばん」のお話はとても分かりやすく、とても楽しいです。

人形を扱う人によって、様々な色が出るお話です。人形劇俳優たちは、自由に演技できるからこそ、お話の道がそれてしまわないように、私たちはいろいろ考えています。悩みながらどうすれば私たちの考えが子どもたちに伝わって、「おだんごばん」というお話の楽しさを伝えていけるのか、日々切磋琢磨しながら稽古を続けてきました。

ます。もう、夏へ移るい、あどけない子どもたちの元気な明るい声が聞こえます。ほんのわずかでも実存の命を輝かせ、虚構の命をよみがえさせるため、一日一日公演の重みと、人形の重みをしっかりと受け取っていくのが大事だと思っています。



### ももたろう 班

横山 美歩

4月から「ももたろう」の作品に携わっています。たくさん子どもたちに見てもらい、その度に嬉しい反応が返ってくるので、初めての上演からずっとドキドキワクワクした日々を過ごしています。「ももたろう」のお話は、誰もが知っている日本昔ばなしで、歌もとても親しみのあるものなので、上演前から「ももたろうの人形劇楽しみ！」と嬉しそうに言ってくれる子どももいました。

ある保育園では、他の園と合同上演の際に「ももたろうチケット」を作って、そのチケットを子どもたちでもぎっている姿が見られました。

とても可愛らしくて、こんなにも子どもたちにとってはビッグイベントなんだと、改めて身が引き締まる思いがしました。

こんなにみんなに愛される昔ばなしだからこそ、人形劇でもっと



公演を実際に行ってみて、「おだんごばん」は手遊びなどもあり、子どもたちは楽しく観てくれていると思います。お話が終わった後、子どもたちが楽しく歌う姿を見ることができ、子どもたちが「おだんごばん」の歌を歌ってくれているのを見ると、とても嬉しい気持ちになります。新しく始まった5分程度のサブパート「ボードビル わらべ歌」は、俳優たちのせりふがなく、わらべ歌の曲の中で進行していく人形劇の原点のような作品です。わらべ歌のような昔からある曲も、年が経つにつれて徐々に忘れ去られていっているような気がします。人形劇で上演する作品もそうですが、昔から大事に伝えられてきた作品を絶やすことなく、今度は私たちが昔教わったように、大事に子どもたちに伝えていけたらと思います。

もともっと楽しく子どもたちに伝えていけるよう、私たちも上演を続けていきますので、応援してください。

楽しくて臨場感のある面白い「もたろう」を子どもたちに観てもらえるように、日々精進していきたいと思えます。

元気と勇気いっぱい、仲間思いでカッコよくて、それでいておんぼくな桃太郎。そんな桃太郎の姿が、子どもたちの心のどこかに残れば幸いです。犬・さる・きじの個性豊かな仲間と、ちよつと怖い赤鬼との活劇。ぜひ、ごらんください。

**「このつきなあと」班**  
野見山 大輔

「このつきなあと」は、山里に独り暮らしのおじいさんといたずらものたぬきの交流を描いた心温まる物語だ。本当にいい話だと思う。



**5月11日 みどりがおか幼稚園**  
**人形製作講習会**

静かに気持ちの流れ、ホロリとラストを迎える。

その分、人形劇俳優としての所作が求められる。せりふの一つ一つ、動きの一つ一つを、丁寧に積み重ねた。改めて勉強・訓練となった。

巡回公演は、子どもとの体温の共有・エネルギーの交感がナマを届ける醍醐味で、大切にしながらはならないが、今まで勢いでごまかしてきた気もする。

固執し過ぎはマイナスだが、伝えたいことを真摯に伝えれば、年齢は関係なく伝わるはずである。この芝居にある小さな温もりを伝えたい。

**もくもく劇場 (首都圏班)**  
下村 あきひ

毎日、暑い日が続いていますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。もくもく劇場は、今年度も、首都圏を中心に活動をしています。

現在のレパートリーは、ロングセラー作品「かもとりごんべえ」をはじめ、「ねずみの嫁入り」「小坊主・ずいてん」「なかよし」の人形劇、また、絵話として「三匹の子ぶた」「証城寺のたぬきばやし」、小さい子向けの小作品「犬の話」「大根・ニンジン・ごぼう」「楽しい歌遊び」...などがあります。観劇する子どもの年齢・上演時



間などによって、作品を組み合わせることもできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

ところで、今年の春から、稽古場移転に伴い、劇団の倉庫を整理しているのですが、54年間の巡回公演の作品の人形たちと再会しています。その人形を見るたびに、当時のことが思い出されます。そして人形たちが、また、子どもたちに会いたい...と言っているように思えてなりません。

この機会に、劇団の財産である過去の作品を見直し、人形たちが再び活躍できる場をつくり、もくもく劇場の作品に加えていきたいと思っています。ご期待ください！



みなさんは、私たちがどうやって人形の目をつぶらせたり、口をパクパクさせたりしているかご存じですか？

先日、福岡県のみどりがおか幼稚園で「人形のカラクリについて」

**園からの声**

**おだんごばん**

■高田保育園 (山梨県西八代郡市川三郷町)

毎年この観劇を楽しみにしています。舞台のセットも工夫され、三人の息もピッタリと合っていて、テンポよく変化があり、とても楽しかったです。話の内容も分かりやすく、おだんごばんが食べられそうになる場面は、子どもたちもドキドキしながら観ていました。

劇の中では、歌や手遊びも入り、地域の人たちや、未就園児のお友だちも、一緒に楽しむことができました。最初の導入段階で演じてくださったわらべ歌もなつかしく、手作りの風車など、とてもよかったです。

汗びっしょりになって演じてくださる姿は、毎年、感動します。また来年も、楽しみにしています。

■ルリ幼稚園 (茨城県古河市)

子どもたちの食い入るように観る姿が、とても印象的でした。私たちも、参考にさせていただいたところがたくさんありました。次年度の作品も、楽しみにしています。

**三まいのおふだ**

■かもめ幼稚園 (北海道留萌市)

とても楽しく観劇させていただきました。

「三まいのおふだ」と「大きなかぶ」、どちらも子どもたちが引き込まれていました。一つ目のお話から二つ目のお話をする前の準備も、子どもたちが飽きないようなやり方で、とてもよかったです。



▲新潟県佐渡市河原田保育園より



▲北海道標津郡計根別幼稚園より

おふたりの演技もすばらしかったです。

■標茶町図書館 (北海道川上郡標茶町)

やまんなの迫力がよかったです。コミカルな演出がとても楽しかったです。観客も怖がりたり笑ったり、楽しんでいました。また、すてきな劇を楽しみにしています。

■ひとみ幼稚園 (北海道旭川市)

人形劇観賞を子どもたちもとても楽しみにしており、集中して観る姿がありました。終わってからも、「もう一度見たいくらい楽しかった」という声がたくさん聞かれました。やまんなも、「怖いけど面白い」「悪いことしたら来ちゃうね」などと、子どもたち同士で会話しています。

■北海道の保育園 (匿名希望)

子どもたち一人一人に声をかけて迎えてくれたり、送ってくれたり、ありがとうございました。保育所でも発表会があるのですが、とても参考になりました。一つの作品をたった二人で練り広げる演技力、凝った舞台装置等、大変すばらしかったです。

**ももたろう**

■平泉保育園 (新潟県佐渡市)

とても気持ちのよい挨拶でした。鬼が出てくるので、部屋が暗くな

りすぎないよう配慮があり、ありがたかったです。

みんなが知っている話で、劇中の歌も一緒に歌うことができました。

■笹口こども園 (新潟県新潟市)

導入のカバクんのダジャレで、子どもたちはみんな大笑いしていました。子どもたちも引きつけられて劇を観ていました。

赤ちゃんからもたろう、犬、さる、きじ、おじいさん、おばあさんに鬼と、楽しいことから怖いことまで、強弱があつてもよかったです。

**このつきなあと**

■つばさ保育園 (福岡県北九州市)

手遊びは子どもたちもとても楽しんで、部屋に戻ってからもしていました。

内容は少し怖がってしまう子どももいましたが、楽しんでいる子どももほとんどで、劇の時間も長過ぎずちょうどよかったです。たぬきがいるいろと化けて出て



の講習会をさせていただきました。口や目を動かす仕組みについて、発泡スチロール製の簡単な模型を使って、実際に先生方と製作してみました。材料は、発泡スチロール製の球体、竹串、ストロー、輪ゴムなど簡単な素材なのですが、問題はバランス。

構造は簡単に見えて、絶妙な位置や角度によって人形のカラクリは作られているんです。イメージはピタゴラスイッチ！ 少しでもずれてしまうとうまく動きが伝わらない。普段当たり前のように人形を操作している私たちも、「人

形」の繊細さに改めて気付かされました。

でもさすが先生方は手際がとてよくて、私のつたない説明にもついてきてくださったって、作業を進めることができました。カッターで素材を彫っていくんですが、園長先生から「水の中でやるとゴミが散らばらなくていいですよ」とのアドバイス。さすがです！

講習会とはいえ、私たちも学ばせていただけたとてもステキな時間となりました。

(吉田 薫)

### 第31回 池袋いけいけ人形劇まつり

5月4日(みどりの日)

豊島区民センター建て替えのため、去年に引き続き今年も南大塚地域文化創造館内南大塚ホールで開催されました。前日の朝、仕込み搬入頃から少し風が吹き、雨もぼつりぼつり。当日も薄曇りで天候が心配でしたが、すてきな男女ユニットのタップダンスや少年少女数人のヒップホップ系のダンスに歌と手遊びなどが行われ、盛況でした。

私たちは「ももたろう」を公演させていただき、今回ホールで唯一の人形劇公演でした。ほかに館内7つの会場でパネルシアター、ワークショップ、人形劇、腹話術など50以上の公演があり、すぎのこの野見山氏も個人参加で、のみすけ☆物語劇場『おそとで遊ぼう』をパネルシ



アター会場でも公演、お客様が入りきれず入場制限するほどでした。

毎年すぎのこも参加している長野県飯田市で行われる「飯田人形劇まつり」のような市全体がおまつりの会場ではなく、こちらのみならず、アットホームな雰囲気。チケット代わりにフクロウ君バッジを付けていけば、一日中楽しく全部観劇できるので安心感があってとてもよかったです。

来年もしお時間があるようでしたら、すぎのこも参加します。ぜひ観に来ていただけるとうれしいです。

(小杉 正繁)

きて、「次は何かな」と子どもたちもわくわくしながら見ていました。

■香住ヶ丘保育園(福岡県福岡市)

- ・いつも子どもたちに声をかけてくださり、とても優しさが伝わります。
- ・少し怖がる子もいましたが、2歳児の子も楽しめる内容でよかったです。
- ・最後はじーんとする場面もあり、それぞれの年齢でそれぞれが楽しめました。

ります。

■篠井保育園(栃木県宇都宮市)

園児たちも、みんな大喜び！ 楽しい観劇となりました。

### ももたろう劇場

## 助成事業に採択される



芸術文化振興基金 助成事業

### 「このつきなあと」助成金交付につぎまわって

この度、「このつきなあと」全国巡回公演が、独立行政法人日本芸術文化振興会「平成30年度芸術文化振興基金」助成対象の活動として採択されました。

今年も九州地方と中国・四国地方を160日間で320公演を目標に巡回する予定です。離島・山村・小規模施設にもお出かけいし、一人でも多くの子どものためにナマの芝居を届け、子どもたちの豊かな感情や表情を引き出すきっかけとなりますよう、努めていく所存でございます。

- 2020年度
  - 2学期 九州地方
  - 3学期 関東地方
- 2021年度
  - 1学期 甲信越地方
  - 2学期 関東地方・沖縄
  - 3学期 関東地方

(福島 亜紀)

本作は、他者との繋がりや他者への思い遣りが描かれた作品です。情操教育としての子どもたちのみの観劇はもちろん、親子や祖父母、更には地域の方々との交流行事としても、お役立ていただけるものと思います。ぜひ、この機会に「このつきなあと」にいらしてください。

### 「このつきなあと」今後の巡回予定

- 2018年度
  - 1学期 九州地方
  - 2学期 中国地方
  - 3学期 四国地方
- 2019年度
  - 1学期 北海道



## 制作

ももたろう

夏がやってきました。子どもたちが、ひとまわりもふたまわりも大きくなる季節ですね。婦恋の研修センターでも、毎年のように子どもたちの合宿が行われています。

海や川で泳いだり、登山、キャンプ、地域のお祭りへの参加、きもだめし：夏は体験の宝庫です。小さい子どもたちも、思う存分水遊びをしたり、手持ちの花火で遊んだり、早起きしてカブトムシやクワガタを捕まえたり、たくさん「初めて」があることでしょう。少し怖がりな子の背中を押してあげたり、はしゃぎすぎる子にブレーキをかけたりと、先生方もたいへんな毎日だと思います。暑い日が続きます。どうぞご自愛ください。

すぎのこの俳優たちは、7月中旬をすぎると、公演先からほちちと飯能研修センターにもどり、秋の公演に向けての稽古をします。今年も稽古場の移転に向けての準備もあり、飯田市で開かれる「世界人形劇フェスティバル」への参加もあって、忙しさにぎやかな夏になりそうです。

新学期には、日に焼けて、ちょっぴり大人になった子どもたちと会えるのを楽しみにしております。

(榎本 千里)

# グネーロ報告



すっかり暑くなり、日差しが刺すような日が続き、夏を感じる事が増えてきます。私たちはそんな暑さを感じることがない、暖かな空気が懐かしく思える日に、例年恒例の本番稽古、いわゆるゲネプロを行いました。

今年は何んといってもフレッシュユな顔ぶれ、非常に若々しいメンバーが多く揃いました。どの作品にもベテランの持つ味や若さ溢れるパワーなど、見所の多いものに仕上がっていて、お客様にも楽しんでいただきました。中には機材トラブルに見舞われ、大丈夫かな？ と心配になる場面もありましたが、舞台の進行が止まること

もなく、その場で機転をきかして乗り切り、成長を大いに感じるこのできたい舞台でした。今年も北は北海道、南は沖縄と全国各地に巡回をさせていただいています。一学期の巡回公演の旅を終えて、ひとまわり成長した若さ溢れる俳優が、皆様のところへ楽しい人形劇をお届けいたします。どうぞ、

# 賛助会員を募集しています！



すくすくゴールド

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
  - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
    - 個人 年額 3,000円 以上
    - 団体 年額 10,000円 以上
  - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
    - 個人 年間 3日間以上
    - 団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届ける。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の申出から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

心行くまでご堪能ください。

(太田 令)



## 事務局 だより



### 研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦孺研修センター」があります。

この施設は緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦孺スキー場等が点

在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもパーベキユーが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

## 劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子どもたちにナマの舞台の感動を届ける仲間(劇団研究生・人形劇俳優)を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じ、たくさん笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間の出張が可能な方、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私たちの活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。又、営業制作も募集しています。活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。

E-mail: info@suginoko.org

または042-971-4121 (飯能研修センター)

## 新人紹介



霍 猛

ニーハオ!

中国内モンゴル出身の霍(カク)と申します。

2005年に来日してから、日本と中国の舞台の仕事をしてきました。

4歳と1歳の子どもの父親でもあります。私の娘と息子も、すぎのこの人形劇が大好きです。

すぎのこを通して、たくさん子どもたちに楽しい思い出に残る時間を届けたいと思っています。

みなさん、よろしくお願います。

## 活動記録(平成30年4月~6月)

### お詫びと訂正

2018年4月1日発行の季刊紙すぎのこ150号に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、左記の通り訂正させていただきます。

- 【誤】高瀬幼稚園
- 【正】上高瀬幼稚園

- 4/8 第一学期全国巡回公演開始
- 5/4 池袋いけいけ人形劇まつり参加 於・南大塚地域文化創造館(東京都豊島区)
- 5/11 人形製作講習会開催 於・みどりがおか幼稚園(福岡県福岡市)
- 5/16 第12回定例理事会開催 於・当公益財団事務所
- 5/31 第6回定例評議員会開催 於・当公益財団事務所
- 6/30 平成29年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出